

コミュニティスクールとしての実践例

—学校運営協議会と地域学校協働本部が一体となって—

横浜市立東山田中学校
校長 小林祐樹

学びあう私たちが目指す姿

「正解から回答へ」 「思考から試行へ」 「成功から成長へ」

○進取の精神と広い視野を持ち、自己実現に向けて努力する生徒
【知 徳 体】

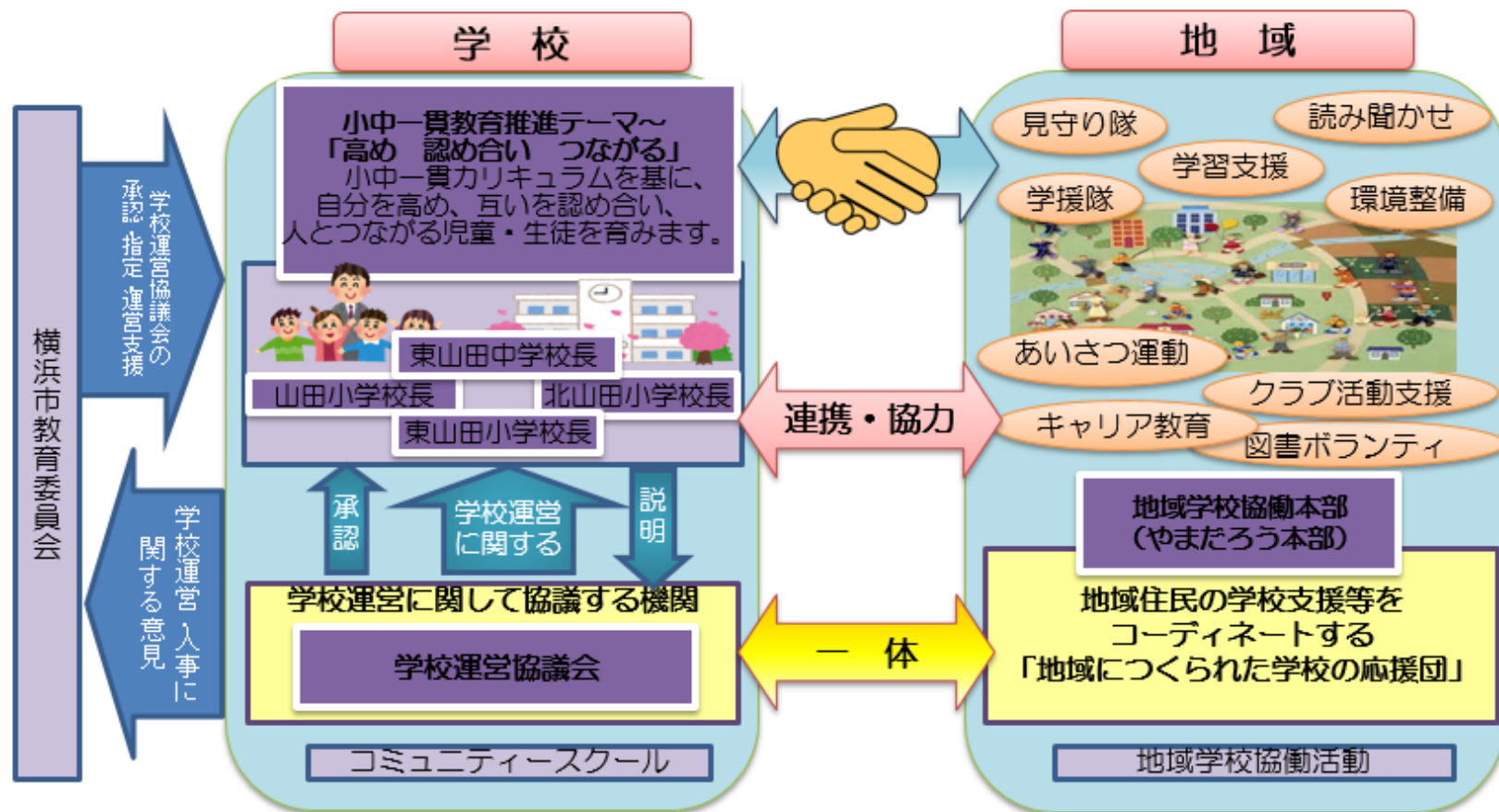
○自他の良さや違いを認め合い、それを集団や社会の中で生かして
いく生徒【徳 公 開】



平成17年4月 神奈川県初のコミュニティスクールとして開校
生徒数 590名（16学級 個別1学級） 教職員 34名

令和4年 9月現在 開校から18年目
生徒数 714名（19学級 個別2学級） 教職員 56名

- ・施設内にコミュニティハウスを併設。行き来が自由。
- ・生徒の学習意欲は高い。
- ・保護者は教育熱心。
- ・キャリア教育を柱として教育活動を推進。
- ・中学校区3小学校（山田小・東山田小・北山田小）とともに小中一貫ブロック「やまたろう」として連携を進めている。



平成30年度から東山田中学校ブロックの学校運営協議会を設置 (年間4回 ブロックで実施)

保護者	小学校PTA会長 中学校PTA会長 保護者
地域	東山田連合町内会より 北山田町内会より 中学校元PTA会長 民間企業 経営者 コミュニティハウス館長 学校支援地域本部コーディネーター 【現会長もコーディネーター】
学識経験者	学校組織マネジメントコンサルタント 弁護士 元中学校校長
教職員	小学校 校長 中学校 校長 ※事務局は中学校副校長

- ・19名で構成
- ・教職員との懇談
- ・生徒会本部役員との懇談
- ・小中一貫教育の推進
- ・地域学校協働本部との連携
- ・授業参観・視察・研修
- ・学校関係者評価の実施

学校の**最大の応援団**
であり、**辛口の友人**

学校運営協議会年間スケジュール

2022

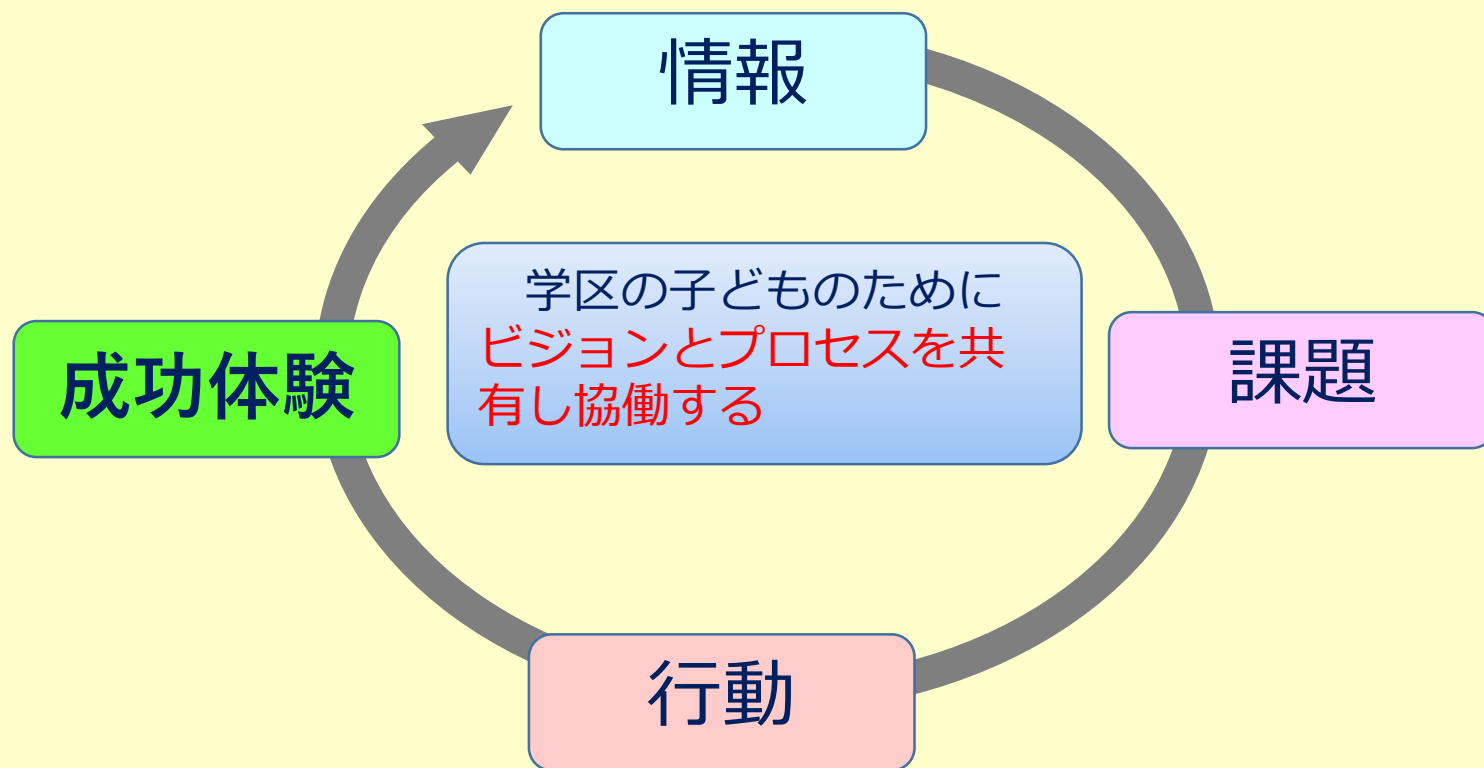
回数	報告内容	審議 & 懇談
1	4月・・・令和4年度学校運営協議会組織 & 日程、 中期学校経営計画の承認 (於：北山田小)	学校運営協議会の位置づけと地域学校協働本部の役割 について 小中一貫教育「やまたろう」実施計画 中期学校経営方針
2	5月・・・部活動顧問との懇談 校外活動・体育祭等報告	保健安全指導部との懇談 (小中合同引き取り訓練振り返り) 中期学校経営方針に基づく具体的取り組み
3	7月・・・R3年度決算R4年度配当予算執行計画 (学家地連総会) (於：東山田 中)	小中一貫教育について 研修会について
4	8月・・・教職員研修・視察等 (R4年度は実施せず、各校での取組とした)	学習支援の取り組みについて等
5	10月・・・部活動結果報告・学校支援地域本部事業 報告 9 / 1 防災訓練・9 / 14 授業参観	生徒会本部役員との懇談、特活指導部との懇談 研究部との懇談
6	11月・・・東龍祭報告	総務部 (含 技能吏員) との懇談、生徒指導部との懇談
7	12月・・・先生方からの要望や意見を伝える (於：山田小)	意見具申書検討
8	2月・・・来年度に向けた小中ブロックの学校運営 協議会の持ち方 (学家地連総会) (於：東山田中)	小中一貫教育振り返り 学校評価 (学校関係者評価)
9	3年生の進路結果、来年度年間活動計画	学校関係者評価最終まとめ、来年度の予定

1・3・7・8回目(年間4回)「は小中合同で行います。

学校運営協議会の役割

- ①学校運営の基本方針を承認すること
- ②学校運営について教育委員会や校長に意見を述べること
- ③教職員の任用に関して教育委員会に意見を述べること

時間
(成長の過程)



空間 (地域・家庭・学校の様々な場)

①会議の工夫

- 会議の司会は会長が行う
事前に校長と打合せ（内容・進め方・時間配分）を行う
- 遠方からの委員のためにZOOMを活用
- サイレントマジョリティへのアプローチ
- 熟議ができるようにファシリテート
- 安心して本音と言える場に（つぶやきも大切！）
- 懇談内容に基づき、教職員・生徒会生徒も必要に応じて参加



単なる報告会やセレモニーにならないように！

②ストロングポイント（場の力・教育財）をどう活かすか

子どもも大人も一緒につどい学ぶ場

地域と学校をむすぶ場（校内にあるコミュニティハウス）



校長室から徒歩50歩



地域の方の交流の場
様々な講座を開設し、地域の方が
学び・語り合う場所



地域のこどもの学び場



中学校の中庭に面した380㎡の市民利用
施設コロナ前は年間3万8000人が利用

東山田中学校区地域学校協働本部（やまたろう本部）



中学校区のシンボルマーク
「やまたろう」

中学校区全体に

**地域と学校を結び、様々なアイデアで学校の
願いを実現するための実働部隊**

■ ボランティアのコーディネート

- ・ 授業支援（困り感のある児童の支援、調理実習、赤ちゃん体験など）
- ・ プール指導の見守り
- ・ 校外行事の引率（・ 宿泊行事への同行・ボランティア研修、企画運営
- ・ ボランティアハンドブックの作成

■ やまたろうファンドの運営

- ～活動の継続性を高めるために～
- ・ コミュニティフェスタでのくじびき
- ・ やまたろうBOXの運営



■ 中学校 キャリア教育をコーディネート

1年生 プロに学ぶ
30人の若いプロ



2年生 課題解決
企業の課題について
考える
民間企業の経営者の方に
協力依頼



まずは教職員と企業の経営者の方が
一緒にシュミレーション

3年生 模擬面接
地域の面接官30人



事前打合せの様子



行動の共有

協議会でのつぶやきから



地域のゴルフ場
からいらない
ネットをいただき
補修



美術部の竹細工
の材料を地域の
方の竹林からい
ただく

学校の困り感や
ニーズを解決する



百人一首部
の畳を寄贈
していただ
く



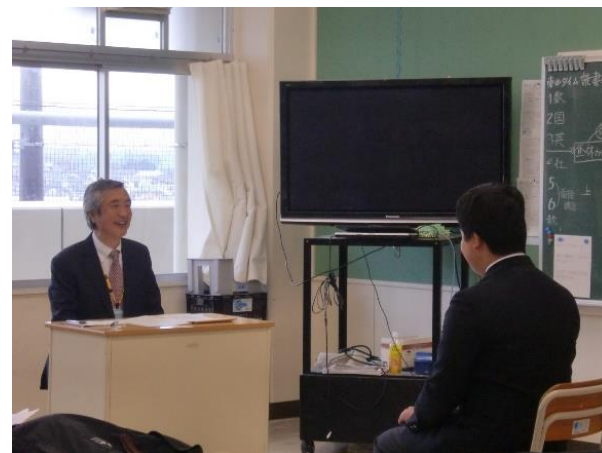
美術科教員が地域
の美術工芸教室に
参加しスキルアッ
プ!

成功体験

多くの大人から認められる・見守られる安心感

■外部講師による様々な学びの機会 教科指導の講師・教材準備 専門家による講演

- ・平和教育（地域の歴史や文化について）・・・地域の方
- ・健康教育（薬物の害）・・・薬剤師
- ・福祉体験（車いす体験）・・・区社会福祉協議会等
- ・認知症講座（出前授業）・・・介護相談員
地域ボランティア



■ボランティア活動

- ・地域のお祭りの手伝い
- ・企業がすすめる防災マップ作りに参加
- ・コミュニティハウス主催の行事の手伝い
- ・地域防災訓練・地域清掃への参加
- ・地域行事への協力

■部活動生徒の活躍の場として

- ・ダンス部、吹奏楽部が地域の行事で発表

■落ち着いた学校生活の維持

■コミュニケーション能力の向上

児童・生徒＝まちの宝



成功体験

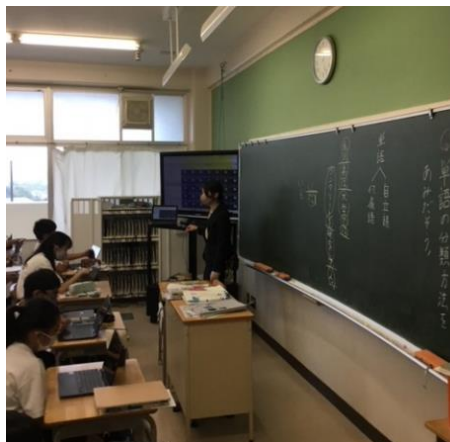
教師力UPを目指す

■教職員の意識改革

たくさんのかかわりで、多くの知恵とパワーが投入

■学校の活性化

教職員が意図的・意欲的に活動
学校運営協議会で懇談し、見識が広がる
常に学び深化する教師集団



教師 = 学校にとっての魅力



成功体験

地域 = 教育の源

時間
(成長の過程)

■ 多くの人が学校教育に参画

- ・ 学校への関心が高まる
- ・ 保護者も地域の一員
- ・ 地域の中で育てられているという安心感

■ 学校を中心とするコミュニティの構築

- ・ 顔の見える関係づくり
- ・ 安心・安全な町づくり

■ 地域の活性化

- ・ 町内会活動への子どもの参加
- ・ 地域の活動と学校との連携

空間 (地域・家庭・学校の様々な場)

○学校運営協議会、地域学校協働本部と学校との協働体制の強化

○絶えず振り返りながら工夫発展させ、継続していく

■ コロナ禍での地域・保護者との関係再構築

- ・ 地域の方と顔の見える関係作り
- ・ 夏の盆踊りのパトロールに参加し、地域の方との交流を図る
- ・ 地区懇談会や防災訓練に教職員も参加

■ 教職員のさらなる意識の高揚とその継続

- ・ 働き方改革を考慮
- ・ 教諭を対象としたCS理解研修の実施
- ・ 懇談内容に応じて教職員も運営協議会に参加
- ・ コーディネーターと教職員との打合せ
- ・ 小中一貫教育の充実

